

小学校英語活動副教材～Momotaro～を考える 「国家の物語」としての再創造の歴史

山崎 友子

1. 問題の所在

「ももたろさん、ももたろさん、お腰につけた黍団子、一つわたしにくださいな」「モモカラウマレタモモタロウ、キハヤサシクテ、チカラモチ」と、自然に口ずさむほど日本人には馴染み深い『桃太郎』が、全国の小学校で使われる外国語活動（主に英語であるので以下「英語活動」と呼ぶ）の副教材に採用されている。

「活力溢れる正義感」の桃太郎は、元気に健やかに育ってほしいという思いを託すモデルとして受け入れられるだろうことは想像に難くない。また、童話にはコンテキストがあり、繰り返しのフレーズが多く、言語習得を促進するものである（Slattery & Willis, 2003）ことから、Momotaro を通して子ども達が英語を習得していくことが期待されるであろう。

しかし、伝承童話の『桃太郎』は、1887年（明治20年）に日本の小学校の教科書に初めて採用され、その後全国津々浦々で語り継がれた桃太郎噺が、近代日本の国民国家形成の装置の一つとして「国家の物語」として再創造（加原 2010）されるという歴史を持つ。「教育」という国家の意図の中にあって、単なる昔話以上の役割を果たしてきた。その「国家の物語」が、全国に一つしかない小学校の英語活動の副教材に採用されたのである。

文部科学省は、21世紀を知識基盤社会化・グローバル化が進む時代とし、その中で競争、共存のできる「生きる力」が求められるという時代認識（文部科学省, 2008）のもとに、教育政策として英語活動を設定した。従って、英語活動の教材研究は、英語の教材としての吟味だけでなく、英語の教材に付与された国の意図に無頓着であるわけにはいかない。しかし、後者に関しては、これまで吟味の跡が見られない。

本稿は、『桃太郎』の教材としての歴史を振り返り、今小学校の英語活動として“Momotaro”を扱う教師に教材研究の資料を提供することを目的とする。

2. 小学校英語活動の教材として登場

小学校外国語活動が2012年度より高学年において必修化された。副教材は『英語ノート1』『英語ノート2』から“Hi, friends! 1”“Hi, friends! 2”に変わった。それぞれに「オリジナル劇を作ろう」という単元がある。『英語ノート』にはロシ

ア民話の『大きなかぶ』が採用されていたが、“Hi, friends!”では日本の民話の『桃太郎』に変更されている。Book 2 の Lesson 7 にあり、それまで学習した語彙・表現を用いてできるまとめの活動という位置づけとのことである（直山, 2012）。

<文部科学省の示す学習指導案>

単元に6時間が当てられ、目標と単元評価基準は下記のとおりである。

目標

- ・積極的に物語の内容を伝えようとする。
- ・まとまった英語の話の聞いて、内容がわかり、場面にあったセリフが言える。
- ・世界の物語に興味を持つ。

単元評価基準

- ・相手意識をもってまとまった話を聞いたり伝えたりしている。
- ・様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり指示したりする表現を聞いたり言ったりしている。
- ・まとまった話を聞いている。
- ・世界には様々な物語があることに気付いている。

英語表現は短く、セリフは26種類と少ない。主なセリフと語彙は下記のとおりである。

- ・ We are strong and brave.
- ・ We are good friends.
- ・ dog, monkey, bird, peach, boy, Grandpa, Grandma

繰り返しが多く、strong は14回、good は10回、brave は8回セリフに登場している。

<Lesson 7: Momotaro の評価>

この新しい教材に対しての評価はどうであろうか。5年次から慣れ親しんでいるコミュニケーションのための表現が多い、3語文が中心であり無理がない、定冠詞の使用がなく文法的に平易である、ということから、物語として楽しむ、平易な英語表現に慣れ親しむ、方略的能力の向上が望める（西崎, 2012）との評価

が見られる。

学習指導案における目標も評価基準も、英語と英語を使ったコミュニケーションについての関心が中心的である。英語について、語彙のレベルからfunction・discourse・strategyまで幅広く捉え、自然なコミュニケーションにふれることができるようにという視点が見られる。英語という言語を巡っての考察である。

「世界の様々な物語」というところは、文化に関わる観点であるが、世界の物語に興味を持つには、それぞれの紹介だけではなく内容に踏み込んだ鑑賞が必要であり、この指導案で十分かは疑問である。副教材の採用が、ロシア民話を取りやめて日本の民話に差し替えられたところからも、「世界に様々な物語がある」という点よりも、学習指導要領の改訂により目指されている「21世紀を切り拓く心豊かでたくましい日本人の育成」という目的に沿って「日本人像」の提示を日本の民話により行うことが重視されたと思われる。しかし、日本あるいは日本人の一つのステレオタイプとしての「桃太郎」についての評価・考察は寡聞にして知らない。

英語活動で取り上げられることにより、子ども達は“*We are strong and brave.*”という表現に慣れ親しんでいく。そして、このことは、学習指導要領の求める、「小学校段階では外国の言語や文化に慣れ親しむことを目的とする」というねらいを実現している実践との評価につながっていく。

3. 国民国家形成の装置として～伝承童話としての「桃太郎」から国家の物語としての再創造

芥川龍之介は1924年(大正14年)に『桃太郎』を発表している。その出だしはこのようである。

むかし、むかし、大むかし、或深い山の奥に大きな桃の木が一本あった。大きいだけではいい足りないかも知れない。この桃の枝は雲の上にひろがり、この桃の根は大地の底の黄泉の国にさえ及んでいた。

そして、終末部分は、

その間も寂しい鬼が島の磯には、美しい熱帯の月明りを浴びた鬼の若者が五六人、鬼が島の独立を計画するため、椰子の実に爆弾を仕こんでいた。優しい鬼の娘たちに恋をすることさえ忘れたのか、黙々と、しかし嬉しそうに茶碗ほどの目の玉をかがやかせながら。……

となっている。彼の描く桃太郎は悪者である。山へ芝刈りに、川へ洗濯に行く祖母のような地味な生活はしたくない、一攫千金を実現して、楽でぜいたくな生活がしたいと思い、鬼退治に出かけるのである。おじいさん・おばあさんは、厄介者に早く出て行ってもらうために黍団子を拵えてやり、本心を隠して、桃太郎をにこやかに送り出す。桃太郎は鬼を退治して帰るが幸せな暮らしを送ったわけではなく、生き残った鬼の復讐を受け、鬼ヶ島で生き延びた鬼の子孫は鬼ヶ島の独立を思い続ける、という教科書とは全く違う桃太郎物語になっている。なぜこのようなストーリーになったのであろうか。翌年、1925年（大正15年）には、山本有三が『文芸春秋』紙上で、桃太郎が明確な理由もなく鬼退治をすることを批判している。

『モモタラウ』が教科書に初めて採用されたのは1887年（明治20年）のことである。文部省は、伝承童話は卑俗なものとして学制公布後は教科書への採用をしりぞけていた（山住, 1997）。福沢諭吉（1835~1901）は、自分の子ども達に、桃太郎は悪いことをしていない鬼を一方向的に攻めて宝物をとって来る、これはよろしくない、と話していたそうであるが、国語や修身の教科書では異なる桃太郎像が語られていく。1902年（明治35年）の教科書をめぐる疑獄事件の後、国語読本・地理・日本史・修身を国定教科書にすることが提案される。「日本の国体とは何であるかを、しっかりと子どもの心の中に印象づけようということに他なりません。それは見事に成功し、マインドコントロールという言葉がぴったり当てはまるような教育活動がその後つづけられていきますが、その発端は何といってもこの国定教科書制度の発足です。」（山住, 1997: 57）

芥川が『桃太郎』を書いたのは、このような教育政策が進められていた時代であり、中国旅行から帰国して後のことであつたそうである。日清戦争、第一次世界大戦を経て日本を覆う好戦的な空気に、自由主義的思想の異議申し立て、せめぎあいとして生まれたのであろう。学制公布直後の、男子約65%、女子31%という就学率が男女とも90%を超え、国家の意図が教育をとおして国民全般にいきわたることができるようになっていった。室町末期に成立したといわれる桃太郎断髪はこのように学校教育をとおして、近代日本の国民国家形成の一つの装置として「国家の物語」となっていた。

昭和に入ると桃太郎は「皇軍兵士」のメタファーとなり（加原, 2010）、太平洋戦争時に見られた日本あるいは日本人の自己と他者に対する認識枠組みを、John Dower は“Momotaro Paradigm”と呼んだ。このようにして、「桃太郎」は「富士山」などのように日本・日本人を象徴するメタファーとなったのである。しかし、その背景には「国家」「教育」「戦争」という問題が隠れているのであ

る。

5. Critical thinking で扱う英語活動教材としての Momotaro

2012年の学習指導要領に則って製作された、全国でただ1種類の英語活動副読本“Hi, friends!”に採用された童話『桃太郎』が、伝承童話を超え、「国家の物語として再創造された物語」であることを教師が知ることは、重要である。人の人としての成長を実現するには、critical thinking は欠かせない。国家の意図もcritical thinking の対象である。目に見えないものを可視化し、分析し、判断する力の獲得が、人としての成長に欠かせないものであり、critical thinking は現行の学習指導要領も求めている力である。その実現には、教師自身が critical thinking を行って教材を吟味し、授業を構成する力を持つことが前提になる。

2013年度後期「小学校の英語教育入門」において、伝承童話としての『桃太郎』から国家の物語としての再創造の歴史について講義し、副教材 Momotaro の my own version を作ろう、という課題を与えた。そのレポートの一部を紹介する。

変更点：鬼退治の場面のやり取り

鬼— Stop! We don't fight you. We apologize to you for having destroyed your houses.

桃太郎—Really?

鬼—Yes. I am sorry.

桃太郎—OK. We can all live together in peace.

理由：桃太郎が「強さ・勇気・正義」といった役割を担うのに対して、鬼には「悪・倒されるもの」という役割が割り振られている。しかし、そういった構図は、第二次大戦中の「日本が正義で、アメリカ・イギリスが悪者」という認識を持たせるために仕組まれたものである可能性があり、桃太郎の話をもとのまま行うのでは、その構図の焼き回しでしかない。・・・変更点によって、戦闘行為を用いずとも対話によって解決がなされるという、平和的解決が可能であるという視点を盛り込んだ。多少子どもにとってわかりにくい部分が増えてしまったかもしれないが、悪いことをしたのだから、反省して謝ることをしなければならぬ、ということも変更点によって取り込むことができたと思う。

教育とは何らかの意図をもってなされる行為である。その意図に無自覚であって

は、自らの行為に責任が持てるとは言えない。「時代」というものは、意識しなければ空気のように見えない。教科書・副教材の改訂は、私達教師に教材そのものと教材の背景となる「時代」を考える機会を与えてくれる。

参考文献

- 芥川龍之介. 1924. 『桃太郎』（初出『サンデー毎日』夏期特別号）
 青空文庫：<http://www.aozora.gr.jp/>
- 加原菜穂子. 2010. 「昔話の主人公から国家象徴へー桃太郎パラダイムの形成」
 東京芸術大学音楽部紀要, 第 36 巻, pp. 51-72.
- 東京書籍. 2012. 「文部科学省 Hi, friends! 準拠 スタンダードピクチャーカード」
http://www.tokyo-shoseki.co.jp/hi_friends/friends_d03.html
- 直山木綿子. 2012. 「小学校教育と外国語教育としての外国語の在り方—新教材 Hi, friends! の活用を通して」第 12 回小学校英語教育学会特別講演. 於千葉大学.
- 西崎有多子. 2012. 「小学校外国語活動におけるオリジナル劇の可能性—新教材 “Hi, friends!” より「桃太郎」を使って」東邦学誌第 41 巻第 1 号抜刷.
- 文部科学省. 2008. 『英語ノート 1』 『英語ノート 2』
- 文部科学省. 2008. 小学校学習指導要領解説～外国語活動編
- 文部科学省. 2012. “Hi, friends! 2” 東京書籍.
- 文部科学省. 2012. “Hi, friends 2” Lesson 7 学習指導案. 文部科学省 HP.
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/fieldfile/2012/03/29/1319015_16_1.pdf
- 山住正巳. 1997. 『戦争と教育 四つの戦後と三つの戦前』岩波セミナーブックス 66. 岩波書店.
- Dower, John. 1986. “War without Mercy: Race and Power in the Pacific War”
 New York: Pantheon Books. (『容赦なき戦争』猿谷要監修・斉藤元一訳、東京：平凡社、2001)
- Mary Slattery & Jane Willis. 2003. 『子ども英語指導ハンドブック』外山節子
 日本語版監修. オックスフォード大学出版編集. 旺文社.

(岩手大学教育学部英語教育科)